

広報

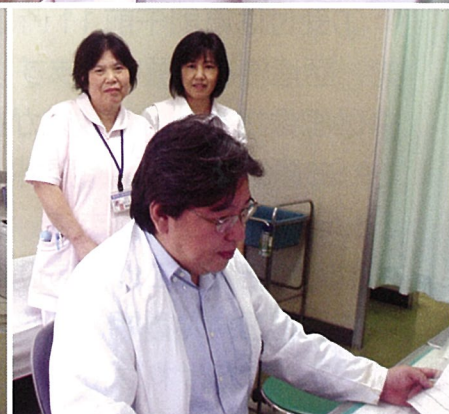
No.13冬号

県立海部病院



病院機能評価Ver.5.0認定病院

外来・手術室のスタッフです



平成22年度から外来と手術室が一部署となり、多様な業務にスタッフが地域支援スタッフやクラークと協力しながら、安全・安心で信頼される看護を目指して取り組んでいます。また、救急外来が設置されているため、24時間体制で救急患者さんの対応も行っています。医師と共に、外来通院されている患者さんの自立に向けて全力で支援しています。

県立病院基本理念

県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる

目次

- 寄附講座「地域脳神経外科診療部」開設 …… 1
- 脳神経外科からのお知らせ …… 1
- 災害に備えて …… 2
- 循環器内科からのお知らせ …… 2
- コンビニ受診を控えてください …… 3
- メタボリック症候群にならないための運動療法Ⅱ …… 3

寄附講座

「地域脳神経外科診療部」が開設されました

寄附講座とは、診療体制の充実と地域医療を担う医師の育成を図るため、県と徳島大学が連携して開設した講座のことで、昨年度から当院に「総合診療医学分野」「地域産婦人科診療部」が開設されておりましたが、去る11月1日より、新たに「地域脳神経外科診療部」が開設されました。開設後は、徳島大学病院の脳神経外科医師2名が原則として、月曜日～金曜日に交代で勤務にあたり、県南地域における脳外科診療の向上に努めています。



影治 照喜 教授



岡 博文 講師

脳神経外科からのお知らせ

脳神経外科では、平成23年10月から、平日は毎日外来診療を行っております。

外来診療は、上記寄附講座医師の他、応援診療医師が診療にあっております。なお、受診に際して以下の点にご留意ください。

- ①受付は原則午前11時30分までです。急な受診が必要な時は、来院前に病院受付に電話連絡をお願いします。
- ②画像撮影や各種検査が必要なこともありますので、予約外の受診は原則15時頃までをお願いします。時間外になりますと検査ができないことがあり、後日再受診が必要になる可能性があります。また、午後は入院患者様に対応していることもあり、長時間待っていただくこともあります。
- ③月曜日や休み明けの平日の午前中は、受診される方が多く混雑します。前記時間を避けていただければ待ち時間も少なくなると思います。
- ④海部病院以外の病院、診療所、医療施設で治療を受けている方は、できるだけ紹介状を持参してください。病名と使用している薬がわかれば診療に役立ちます。お薬手帳や薬局でもらう薬の一覧表もあれば助かります。
- ⑤予約患者様以外は診察前に外来看護師が問診をします。受診の目的や希望を簡明に伝えてください。
- ⑥各脳外科医師はそれぞれ専門分野を持っていますが、全員脳疾患全般の診療が可能です。
- ⑦学会出張等で休診になることがあります。休診は院内の掲示板に掲載しています。または、平日時間内であれば、病院に電話で確認することもできます。

災害に備えて



徳島県立海部病院
内科 阿部 あかね

徳島県立海部病院に勤務して早くも1年半が経ちました。牟岐の暖かい気候と温かい人情に触れ、すっかり居心地よくなっている今日このごろです。

私は4月下旬、徳島県からの医療救護班チームメンバーとして東日本大震災被災地である宮城県石巻市を訪れました。300名が避難生活を送っている中学校の保健室を仮設の診療所+薬局として診療を行いました。上気道炎や下痢などの感染症や(衛生環境が整備されていないので)、ストレスや不眠などによる血圧上昇、がれき撤去の際の手足の怪我などで受診される方が多かったです。「家族も、家も、仕事も失ってしまった」とぼつりぼつりと語られる方にはかける言葉もみつからず無力感を感じましたが、わずかでも安心を提供できたらという思いで向かいました。

短い期間ではありましたが、災害後の被災者の亜急性期の健康管理を経験させていただいて感じたことは、患者さん本人からの情報の重要性です。津波などによる大災害時にはかかりつけ病院も、主治医も、今までのデータがすべて入っている電子カルテも、薬も突然失ってしまいます。そして、支援にきた初対面のスタッフによる医療を受けることになるのです。

さて、その際「自分(もしくは自分の家族)は何の病気でどんな薬をもらっているか」を説明できますか。あるいは自分が飲んでいる薬で切らしてはいけない薬はあるか、それはどの薬かご存知ですか。何らかの疾患をお持ちの方にとって、自分の健康管理は、現在の病状を把握することから始まります。今ドキッとされた方は、今度主治医に尋ねてみてください。

そして、太平洋沿岸のこの海部地区も南海地震の津波被害をこうむるであろうことは皆様ご周知のことと思います。あらゆる施設で津波対策が検討されていると思いますが、海部病院でも津波対策避難訓練を計画中であり、その第1弾が11月22日に行われました。また、阪神淡路大震災を機に厚生労働省が発足させたDMAT(Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム)が海部病院でも1隊編成されており、私もそのメンバーの一員ですが、東日本大震災後、各地の訓練に参加し、災害時に備えております。災害拠点病院として機能できるよう、また、患者様の安全を確保できるよう努めていきます。

循環器内科からのお知らせ

11月から診療体制の充実を図るため、今まで月1回であった外来診療を毎週(木曜日)診療しております。

【診療時間】 第2木曜日：午前診療 第2週以外の木曜日：午後診療

「土曜救急」再開 ～コンビニ受診を控えてください～

当院は平成20年4月以降、医師不足の影響で、土曜日の救急患者受入れを休止していましたが、去る11月1日より受入れを再開し、24時間365日救急対応できる体制を整えております。

しかしながら、休日や夜間に、軽症でも救急病院に駆け込む“コンビニ受診”（※コンビニ受診とは、軽症の患者が安易に病院を利用することです。）が増加しますと、医師の負担増加を招き、翌日以降の診療に支障を来したり、ひいては離職の要因となることも考えられます。

そこで、比較的症状が軽い場合は、まずは「かかりつけ医師」に相談したり、在宅当番医を利用し、本当に必要な人が、必要な時に受診できるよう、コンビニ感覚での病院受診を控えるようにしてください。

～医療機関の適正利用は、医師負担の軽減につながります～

メタボリック症候群にならないための運動療法Ⅱ

運動療法を効果的に進めるための5つのポイント

- ①運動の種類・量は医師に相談の上、決めましょう。過激な運動で、心臓や足腰に負担をかけ過ぎることは好ましくありません。
- ②体調の悪いときは休みましょう。
- ③無理のないペースで、毎日こつこつ長期間続けましょう。
- ④汗をかいたら忘れずに水分の補給をしましょう。
脱水状態のままいると血液が固まりやすくなり、血管に負担がかかってしまいます。
- ⑤カロチン、ビタミンC・Eを豊富に含む食品をたくさんとって、体内でおこる酸化反応を予防しましょう。



【カロチン】 にんじん、ピーマン、かぼちゃなどの緑黄色野菜

【ビタミンC】 ブロッコリー、トマト、じゃがいもなどの野菜、いちご など

【ビタミンE】 ナッツ類（アーモンド・ピーナッツなど）、ほうれん草などの緑黄色野菜、大豆、小麦胚芽など

発行日：平成24年1月1日

発行：徳島県立海部病院広報委員会 〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1

TEL：0884-72-1166 FAX：0884-72-3521

HP：http://www.tph.gr.jp/_kaifu/1%20top%20page/index.html